

ワークショップ だよ！ Vol.7

南部圏域地域ブランド創造ワークショップ

と き 平成23年3月8日(火) 18:30~21:00

と ころ 南部総合県民局美波庁舎 101会議室

◎南部圏域(阿南市・那賀町・美波町・牟岐町・海陽町)の地域ブランドの創造に向けて、地域の方たち自身で考え作り上げていく「南部圏域地域ブランド創造ワークショップ」を開催しています。

◎このお便りは、「南部圏域地域ブランド創造ワークショップ」での話し合いの様子をお届けするものです。

ステップ1

はじめに

今回のワークショップ開催の目的について、県民局から説明を行いました。
また、緊張をほぐすため、簡単な体操とゲームを行いました。



ステップ2

共通するイメージで分類してみよう

前回の圏域全体ワークショップと1市4町でのワークショップで提案されたイメージ(カード)を使って、共通するイメージごとに分類しました。
和気あいあいとした雰囲気での話し合いが進み、第2回目の開催もあり、手際よくイメージも分類がされました。



●各グループのイメージカードの分類は...

チーム Nukujinjo

◎人間性

- ・優しい ・人も気候もあたたかい ・郷土愛が強い
- ・あたたかい ・柔軟性のある人 ・ええかつこしい
- ・明るい ・人情がまろやか ・ぬくい
- ・親切 ・お接待の心 ・朗らか ・謙虚な人柄
- ・争いは好まない ・人が良すぎる ・事なかれ主義
- ・他人に親切 ・たおやかな人柄 ・ポカポカ

◎町のイメージ

- ・光のまち「LED首都」 ・野球のまち ・いやしのまち
- ・美しい波の町 ・「竹」のまち ・天国のような場所
- ・漁師のまち ・田舎の産業都市 ・花のまち ・落ち着くまち

◎歴史

- ・個性的な郷土料理 ・山菜が味わえる町
- ・伝統に会える町 ・幕末 ・みなみ阿波歴史海道

◎体験

- ・知られていない ・BBQが大勢でできる町 ・徳島の龍宮城
- ・昔の田舎が体験できる町 ・アウトドア ・サーフィンのまち
- ・サーフィンにお金を使ってもらえるまち
- ・田舎なのに活気がある

◎環境・食・健康

- ・不便が良い ・何もなければこの町が好き ・資源豊富
- ・自然がいっぱい ・冬もあたたかい ・身近な海
- ・探しているものがある場所 ・星降るまち ・星空の見える町
- ・かぜのまち ・一番なものがない ・秘境穴場
- ・野生動物が身近に見えるまち ・田んぼにめだかがいる
- ・神秘性、秘境、隠れ家的、奥深い ・隠れスポット ・島
- ・安心感 ・安心安全 ・彼岸花が咲く ・タイムスリップ
- ・気安く行ける田舎 ・いやし ・癒しの徳島NO.1 ・健康一番
- ・いるだけで元気 ・徳島に住むと健康になれる
- ・徳島に来たら健康になれる ・家族で楽しめる
- ・あそこに行ったら楽しめる ・自由に遊べる川がある
- ・スローライフ ・川でのんびりスローライフができる町
- ・田舎暮らしがしたい ・田舎 ・祭り

チーム ねきぼうず

- ・人も気候もあたたかい ・四国最東端 ・冬もあたたかい
- ・あたたかい ・ぬくい ・ポカポカ ・お接待の心 ・他人に親切
- ・いやし ・癒しの徳島NO.1 ・親切 ・家族で楽しめる
- ・いやしのまち ・落ち着くまち

- ・朗らか ・明るい ・田舎なのに活気がある ・いるだけで元気
- ・たおやかな人柄 ・人情がまろやか ・ええかつこしい
- ・健康一番 ・徳島に住むと健康になる ・人が良すぎる
- ・徳島に来ると健康になる ・謙虚な人柄 ・やさしい

- ・天国のような場所 ・タイムスリップ ・思い出の玉手箱
- ・体験 ・昔の田舎が体験できる町 ・田舎暮らしがしたい
- ・不便が良い ・何もなければこの町が好き
- ・郷土愛が強い ・昔ながらのホニャララ

- ・不便 ・自然がいっぱい ・スローライフ
- ・川でのんびりスローライフができる町 ・自由に遊べる川がある
- ・アウトドア ・BBQが大勢でできる町 ・星空の見えるまち
- ・田んぼにめだかがいる ・彼岸花が咲く ・サーフィンのまち
- ・山菜料理が味わえる町 ・かぜのまち ・美しい波の町
- ・サーファーにお金を使ってもらえる町 ・サーフィンが好き
- ・光のまち ・星降るまち ・漁師のまち ・花のまち

- ・気安く行ける田舎 ・身近な海 ・手軽な〇〇 ・安心安全
- ・安心感 ・関所のないまち

- ・南阿波 ・高知につながる町 ・幕末 ・みなみ阿波歴史海道

- ・高品質 ・工業 ・伝統に会える町 ・「竹」のまち ・LED
- ・光のまち「LED首都」 ・田舎の産業都市

- ・秘境穴場 ・神秘性、秘境、隠れ家的、奥深い ・隠れスポット
- ・野生動物が身近に見えるまち ・個性的な郷土料理
- ・知られていない

- ・普通のまち ・田舎 ・一番なものがない
- ・中途半端なまち ・縮図のまち

- ・将来性 ・可能性のまち ・ばらばらの町 ・祭り ・変化
- ・柔軟性のある人 ・資源豊富 ・PR下手なまち
- ・争いは好まない ・事なかれ主義

- ・野球のまち

- ・島 ・徳島の龍宮城
- ・徳島の真珠

ステップ3

県南地域のイメージを提案しよう

各グループで分類したイメージカードをもとに、県南地域のイメージのもととなるキーワードを探りだし、各グループごとに、県南地域のイメージを提案しました。つづいて、提案された県南地域のイメージについて、発信方法の意見を出し合いました。



各グループから提案された県南地域のイメージ

チーム Nukuinjo

(人から場所から)
ぬくいんじょ

キーワード

- ・ぬくい ・美しい波
- ・活動する波
- ・スローライフ
- ・綺麗な環境にいれる
- ・キラキラ光 ・健康
- ・LEDの光 ・星の光
- ・海の光
- ・すべてが天然

チーム ねきぼうず

・(人と自然のぬくもりが) いっぱいあるでないで

・歴史の源

・昭和に会える町

キーワード

- ・心も体も健康
- ・人も自然も「あたたかい」
- ・時間が止まっている
- ・自然と歴史が楽しめる
- ・ひそかに歴史が生きている町
- ・事上げをしない
- ・気楽～
- ・宝探しのできる町
- ・普通の田舎 ・控えめ
- ・伝統から最先端
- ・未知の可能性

各グループから提案された魅力の伝え方

- ・イメージソングを作る
- ・「ぬくいんじょ」のコンセプトを作る
- ・買い物袋に「ロゴ」をいれる
- ・愛称をいれる

- ・県外から来た人から見た阿波！（ガイド本）
- ・歴史のテキスト本
- ・南阿波検定
- ・インストラクターの養成
- ・あるモノをそのまま活用する
- ・那賀海部サミット

ステップ4

今後の予定

今後、今回提案いただいた県南地域イメージ、魅力の伝え方をもとに、地域ブランドの方向性などについて、引き続き、検討していきます。



Q: 「地域ブランド」って なんじえ？

「地域ブランド」についての明確な定義はありません。和田充夫ほか著「地域ブランドマネジメント」(有斐閣)では、一つの試みとして、『その**地域が独自に持つ**歴史や文化、自然、産業、生活、人のコミュニティといった**地域資産を、体験の「場」を通じて、精神的な価値へと結びつける**ことで、「**買いたい**」「**訪れたい**」「**交流したい**」「**住みたい**」を誘発するまち』と定義づけています。

地域ブランドの創造は、一つの特産品を作ることではありません。地域独自の資産を活用して、生産・販売・観光・交流・移住を有機的に結びつけ、地域全体を活性化させるところに、その創造意義があります。

ファンの心を驚掴みにするものは何か、どういう“提供のしかた”が必要なのか、みんなで一緒に考えていきましょう。

お問い合わせ

南部圏域地域ブランド創造ワークショップ
についてのお問い合わせは、こちらまで。

徳島県南部総合県民局<美波>
企画振興部 県南振興担当
電話:0884-74-7356(担当:浦西)

